

## 豊かな食材で特産品開発 起業者などの新メニュー試食発表会

■朝日町商工会 ☎67-2207 ■総合産業課 産業創造係 ☎85-0415

ホームページに写真



新メニューを試食する出席者

町の豊かな食材を生かした新メニューの試食発表が2月24日、開発センターで行われました。町内で商品開発に取り組む9団体が出した和食、洋食、スイーツなど約40品目が並び、町内飲食店や各種団体の代表、町、議会関係者など約50人が試食し、味や見た目を評価しました。

町では、平成17年度から8年間国の支援を受け、農産物を利用した新商品の開発や起業家育成などの起業支援に力を注いできました。その結果、10団体が起業し、24年10月にはこれらの団体による「小さな企業協同組合」が設立されました。

商工会と町は今年度、友好の町である宮城県七ヶ浜町および都内でも同様の試食会を実施。起業支援を担当する町産業創造推進機構の早坂健一主査は「試食会をきっかけに、県人会や郷土出身者とのつながりができた。これを今後も大事にし、仙台圏および首都圏での販路拡大を図っていきたい」と意気込みを述べていました。

## まもなく和合地域交流センターが着工 和合地区で地域づくりの経過を振り返る研修会

■政策推進課 地域振興対策室 ☎67-2112



大勢の参加者のもと開かれた研修会

「みんなで和合のことをもっと知ろう」と銘付った研修会が3月1日に和合公民館で開かれ、70名を超える地元の方々や町職員が参加しました。

来年度に着工する「和合地域交流センター」の設計と検討経過が報告されたほか、現在和合地区で進められている活動に携わってきた14人がこれまでの体験を発表し、過去10年の歩みを皆で振り返りました。

「地域から小学校がなくなるという不安は深く、大きな渦にのみこまれそうな和合でした」とは、最初の発表者の言葉。「これまでの活動や今の和合をみると、かけた時間と手間が無駄ではないことを実感した。みんなの声や提案を行動に移し、頑張ってきた甲斐があった」と口火を切ると、その後の発表者全員が堰を切ったような勢いでこれまでの熱い想いを披露。若者からご年配、男女入り混じった熱い研修会となりました。

終了後には懇親会も開催。施設の活用や今後の整備方法、地域づくり活動のさらなる工夫などについて会話が弾み、盛り上がりしました。

# 朝日町誕生 60 年

5月号から特別企画「広報誌で振り返る60年」の連載をスタート。  
思い出深い出来事、写真を募集します。

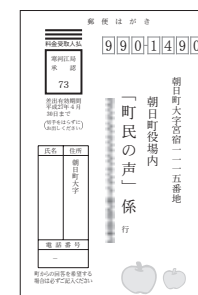
■政策推進課 地域情報係 ☎67-2112

### ■応募方法

本誌に折込まれている「町民の声」のハガキをご利用ください。表面に住所（地区名）氏名等を、裏面に思い出の出来事とそのエピソード等をご記入いただき投函ください（切手不要）。写真がある場合は、これらを記した紙を写真を一緒に、下記宛先までお送りください。写真は返却します。

【宛先】〒990-1442 朝日町宮宿 1115 番地  
政策推進課地域情報係

【締切】平成26年4月18日



▶最上川本流では唯一となる上郷ダムの完成を報じる、「広報あさひ」の昭和37年7月号。工期1年半の突貫工事、大勢の町民が作業に従事したという。「脚光浴びる電源の町」というタイトルが時代を象徴している



### 同時募集！あなたの企画で60周年を祝い盛り上げてみませんか？

#### ■朝日町制施行60周年記念町民自主企画事業補助金

町では、町制施行60周年をお祝いするため、町のみなさんが自ら企画・実施する記念事業を募集します。事業に対しては補助金を交付し支援します。詳しくは今回配布のチラシをご覧ください。

祝・還暦!!今年11月1日は朝日町の60回目の誕生日





子どもの芸術文化表彰受賞者



体育協会表彰出席者（代理出席の場合あり）

■ 朝日町体育協会表彰 殊勲賞

| 氏名                                          | 職業（学校）    | 地区  | 主な成績                           |                  |       |  |
|---------------------------------------------|-----------|-----|--------------------------------|------------------|-------|--|
| 児珠 藍                                        | 看護師       | 大 町 | 第 19 回全日本スキー選手権大会スノーボード競技      | スノーボードクロス        | 第 4 位 |  |
| 堀 はやと 隼聡                                    | 中央大 4 年   | 中 沢 | 第 62 回関東学生剣道優勝大会               | 剣道競技 男子団体        | 第 5 位 |  |
| 星野 裕太                                       | 東北学院大 3 年 | 宇津野 | 第 61 回東北学生剣道優勝大会               | 剣道競技 男子団体        | 第 1 位 |  |
|                                             |           |     |                                | 同 男子個人           | 第 3 位 |  |
| 清野 こうゆう 嵩悠                                  | 早稲田大 2 年  | 四ノ沢 | 第 85 回山形県総合スキー大会国体予選           | スキー競技 男子大回転      | 第 1 位 |  |
| 遠藤 みき お 幹士                                  | 山形工高 3 年  | 舟 渡 | 第 67 回東北高等学校選手権大会              | 卓球競技 男子団体        | 第 3 位 |  |
|                                             |           |     |                                | 同 男子ダブルス         | 第 3 位 |  |
| 海野 美里                                       | 山形中央高 3 年 | ハツ沼 | 第 16 回全日本ジュニア柔道体重別選手権山形県大会柔道競技 | 女子個人 57 kg 級     | 第 1 位 |  |
| 志藤 慶太                                       | 山形工高 2 年  | 川 通 | 第 25 回東北高等学校剣道選抜優勝大会           | 剣道競技 男子団体        | 第 3 位 |  |
| 小林 桃                                        | 山形城北高 2 年 | 夏 草 | 第 45 回東北高等学校インドアソフトテニス大会       | ソフトテニス競技女子団体     | 第 1 位 |  |
|                                             |           |     |                                | 同 女子個人           | 第 1 位 |  |
| 今井 祐太                                       | 朝日中 3 年   | 大 町 | 第 53 回山形県中学校総合体育大会             | 剣道競技 男子個人        | 第 1 位 |  |
| 佐藤 綾子                                       | 朝日中 2 年   | 宿   | 第 53 回山形県中学校総合体育大会             | 柔道競技 女子個人 40kg 級 | 第 1 位 |  |
| 朝日中男子剣道部                                    |           |     | 第 37 回東北中学校剣道大会                | 剣道競技 男子団体        | 第 1 位 |  |
| 【鈴木貴大、富樫春優、今井祐太、志藤康平、古川哲兵、菊地竜ノ介、白田大、大竹晶徳】   |           |     |                                |                  |       |  |
| 朝日中女子剣道部                                    |           |     | 第 53 回山形県中学校総合体育大会             | 剣道競技 女子団体        | 第 2 位 |  |
| 【佐藤亜美、遠藤みのり、菅井芽衣、菅井茉衣、岩澤芽衣、川村優貴乃、長岡佑希、大竹紀香】 |           |     |                                |                  |       |  |

■ 朝日町体育協会表彰 優秀賞

| 氏名        | 職業（学校）             | 地区  | 主な成績                     |                   |       |
|-----------|--------------------|-----|--------------------------|-------------------|-------|
| 阿部 まなみ 愛美 | 霞城学園高<br>平成 25 年度生 | 常 盤 | 第 46 回全国高等学校定時制通信制総合体育大会 | 卓球競技女子団体          | 第 1 位 |
|           |                    |     |                          | 同 女子個人            | 第 3 位 |
| 菊地 たいが 泰河 | 大谷小 6 年            | 栗木沢 | 第 3 回山形県少年少女剣道個人錬成大会     | 剣道競技 男子個人（6 年生の部） | 第 2 位 |
| 松田ちほみ     | 大谷小 6 年            | 舟 渡 | 第 3 回山形県少年少女剣道個人錬成大会     | 剣道競技 女子個人（6 年生の部） | 第 2 位 |

■ 朝日町子どもの芸術文化活動表彰

| 氏名        | 職業（学校）    | 地区  | 主な成績                    |                 |                      |
|-----------|-----------|-----|-------------------------|-----------------|----------------------|
| 堀 文悟      | 宮宿小 3 年   | 四ノ沢 | 第 55 回 山形県子ども絵画展（子ども県展） | 奨励賞             |                      |
| 阿部 龍斗     | 西五百川小 5 年 | 立 木 | （財）きらやか銀行教育振興基金         | 山形くらしの文集        | 県総合版特選               |
| 滝口 結斗     | 宮宿小 5 年   | 大 町 | （財）きらやか銀行教育振興基金         | 山形くらしの文集        | 県総合版特選               |
| 海藤 理子     | 西五百川小 6 年 | 常 盤 | 国交省最上川水系水質汚濁対策連絡協       | 川をきれいにする児童図画作品展 | 銅賞                   |
| 鈴木 崇仁     | 朝日中 3 年   | 宿   | 中学生税についての作文コンテスト山形大会    |                 | 県納税推進協議会長賞           |
| 白田 和希     | 県立左沢高 2 年 | 大谷三 | 平成 25 年度明るい選挙啓発ポスター     |                 | 全国審査入選               |
| 志藤 しおり 汐莉 | 県立山辺高 3 年 | 栗木沢 | 貝印主催 スイーツ甲子園            |                 | 北海道東北ブロック大会優勝。全国大会出場 |

第 2 6 回朝日町生涯学習推進大会、各種表彰式

■教育文化課 生涯学習係 ☎67-2118



女性文化教室「大正琴」



地育力三行詩表彰「特選」受賞者

町内の様々な団体が一年間の活動の成果を発表する「町生涯学習推進大会」が 2 月 23 日、創遊館で開催されました。

各地区の公民館関係者など約 310 人が参加。活動事例発表では、女性文化教室の大正琴教室の皆さんが演奏を披露したほか、「町ボランティアの会」の鈴木貞夫代表が会の立ち上げから今日までの取り組みを発表。七ヶ浜町など被災地における精力的な復興支援のほか、町内小学校通学路の除雪活動について報告しました。

その後、「3.11 後の福島から ～住民主体の学びを考える～」と題し、福島大学の千葉悦子教授が講演。原発事故で犠牲となった地域の実態、再生への動きなどを例に挙げ、平常時の学びや活動の大切さを伝えました。

大会の席上、家庭教育や地域ぐるみの子育てをよびかけようと「あさひ教育の日推進委員会（多田秀人委員長）」が昨年募集した「地育力」三行詩コンクールなど各種表彰式も行われ、受賞者に賞状やメダル、記念品などが贈られました。



町ボランティアの会  
鈴木貞夫代表

■「地育力」三行詩コンクール（応募総数 223 点）

| 入選区分 | 標 語                                               | 氏 名                          |
|------|---------------------------------------------------|------------------------------|
| 特選   | おかあさん、いつもぼくをギュッとする<br>ちょっとはずかしいけど、うれしいな           | 堀 りょうあ 龍空<br>（元町／宮宿小 1 年）    |
| 特選   | 山に囲まれて空気のきれいな町だから<br>「あいさつ」のこだまでみんなが元気 地域も元気      | 菊地 しようこ 翔悟<br>（夏草／西五百川小 5 年） |
| 特選   | 「何した!？」やさしく言ったりおこって言ったり<br>地域の子だからかけちゃう言葉         | 長岡 ひろみ<br>（大町／一般）            |
| 入選   | 一日のエンジンかけよう朝ごはん<br>みんなえがおでいただきます                  | 佐竹 もえ 萌<br>（常盤／西五百川小 2 年）    |
| 入選   | 夕ごはんみんなが集まる楽しい時間<br>今日はどんな話でもりあがるかな 体も心もまんぷく      | 會田 ひかる 輝<br>（元町／宮宿小 3 年）     |
| 入選   | 大きな声で「おはよう。言えば<br>となりのおばちゃん窓から顔だし「いってらっしゃい。」      | 阿部 りょうた 凌太<br>（夏草／西五百川小 4 年） |
| 入選   | トマトもぎ、カボチャ洗い、今はたくさんお手伝い<br>いつかはぼくが教えるよ おいしい野菜の作り方 | 堀 じよすい 如水<br>（大谷七／大谷小 5 年）   |
| 入選   | 私の地域の宝物 きれいな水とものしりなおじいちゃんおばあちゃん<br>そして元気な私達       | 鈴木 こうみ 康水<br>（ハツ沼／西五百川小 6 年） |
| 入選   | 「子育ては大変だけどいつときよ。楽しんでね。」<br>先輩ママのやさしい声にありがとう       | 遠藤 ともか 知佳<br>（真中／一般）         |
| 入選   | ピカピカ光る子供達 地域みんなで育てれば<br>やがては町のタカラモノ               | 長岡 藤夫<br>（大谷五／一般）            |





ホームページに写真



## 3/2 雪と霧で景色は残念ながらお預け… 春の雪山トレッキング

Asahi 自然観周辺の雪原を散策する「春の雪山トレッキング」が3月2日開催され、県内外から28人が参加しました。自然観のエアトップグレンデ頂上から、朝日連峰の大パノラマが広がる目的地「サイツチ峰」を目指した一行でしたが、この日の天候はあいにくの雪。霧も視界を遮り、お目当ての絶景は残念ながらお預け。ある参加者は「一度この目で見るまで参加し続けます」と来年の参加を約束していました。



## 3/2 「ぜ〜んぶ山形弁でしゃべること」がコンセプト 「なまらナイト」卒業式

NHK 山形放送局の人気番組「なまらナイト」のラジオ公開生放送が3月2日、創遊館で行われました。「山形の若者に、山形はいいところだと自信をもてるような番組を」と2007年に生まれたこの番組の特徴は、全部山形弁で話すこと。46回目の今回は、「卒業式」と銘打った事実上の最終回で、同局の柴田徹アナや「なんでだろう」のテツ&トモら6人が出演。トークや歌で観客を魅了しました。



## 3/2 今回は初めて男だけの大会 男だけのフットサル大会

西部公民館が主催する「男だけのフットサル大会」が3月2日開催され、6チームが熱戦を繰り広げました。若者の交流を目的に開かれている本大会も今回で8回目。女性1人の出場を義務づけていた前回までと変わり、今回は男性だけの大会。参加チームは例年よりも少ないものの盛り上がりは同じで、いつも以上に真剣勝負だったかも」とある参加者。結果はモンデミロFCA(佐藤高章監督)が優勝しました。



## 3/2 「地域みんなで子どもを育てよう」 子ども会育成委員の研修会

町子ども会育成連絡協議会の育成委員研修会が3月2日、創遊館で行われ、来年度の育成委員35人が参加しました。「地域みんなで子どもを育てよう」の演題の下、県家庭教育アドバイザーの荒木たか子氏(寒河江市=写真)が講演。教員時代、送橋小と上郷小に合計5年間勤務した自らの勤務経験をもとに「朝日町には地域による子育ての土台がある。これをうまく活かしていこう」と参加者に呼びかけました。



▲大会当日、笑顔で優勝を喜ぶ菊地(左)、阿部(右)、2人の“しょうご”くん。

◀形の練習の様子

## 2/11 柔道の基本動作 形の県大会で優勝

菊地 翔悟 くん(西小5年/夏草)  
阿部 奨悟 くん(大谷小4年/大谷五)

柔道の基本動作「形」を競う「山形県接骨師会会長杯争奪少年少女柔道"形"競技会」が2月11日山形市で開かれ、朝日町柔道スポ少の菊地翔悟(夏草)・阿部奨悟(大谷五)組が見事優勝しました。

柔道における「形」とは、2者が技を掛ける側の「取(とり)」と、受ける側の「受(うけ)」にわかれ、決められた手順で、仕掛け、受け止め、反撃を反復すること。柔道を正しく理解、体得するために非常に重要な稽古の一つで、勝利至上主義にならないよう、昨今は重要性が見直され、全日本選手権や世界選手権も開催されています。

当日は、礼法のほか、投げ技(18本)の正確さ、位置取り、全体の流れ等を対象に厳正な審査が行われ、最高の結果を残した両選手。今後は山形県代表として、7月に盛岡市で開催される東北大会に出場。全国大会を目指します。



▲民話劇「貧乏神と福の神」の上演

◀「さぶい山」の昔話を披露する渡辺滝子さん

## 3/9 子どもの心を豊かに、大人の心に潤いを… 昔話きいてみんなのつどい

18回目となる「昔話きいてみんなのつどい」が3月9日創遊館で開催され、約30人が「語りの会 つむぎ(成原千枝代表)」による民話劇や昔語りを楽しみました。

今回は最初に民話劇「貧乏神と福の神」が上演されたあと、4人が6話の昔話を披露。このうち、渡辺滝子さん(元町)が語ったのは、今から20年前、岡崎文彦さん(大町)によって作られた「さぶい山」という物語。暖日山や太郎という地名の由来を独自に創作したもので、紙芝居や映像にもまとめられた作品は、当時全国でも高い評価を受けました。話の最後に「太郎が住む村、だから太郎になったとさ…」と締めくくられると、会場には「うーん、なるほど」といった納得と共感の声が響いていました。

「子どもの心を豊かにし、大人の心に潤いを与えるもの、それが昔話。楽しんでください」。冒頭のあいさつでこう述べた渡辺さん。昔話を聞き終えた来場者の表情は、皆一様にほっこり笑顔でした。





「非公式マスコットを考え、ま  
ちづくりを学ぶ」。こんな授業  
が今年度、朝日中学校2年生の  
美術の時間に行われました。ウ  
サヒを超える町のPRキャラク  
ターを考えながら、町を学び、  
PRを考える授業にと、同校の  
亀井道敬<sup>みちたか</sup>教諭発案の授業です。  
私は1、2月に中学校に出向  
き、完成した作品の講評会と、  
キャラクターづくりのアドバイ  
スを担当しました(II写真)。生  
徒たちの作品には、町の特産品  
などが個性的に盛り込まれ、言  
葉では表しきれないシニールな  
郷土愛にあふれていました。特  
作品を制作するにあたり、特



朝日町の地域おこし協力隊、緑のふるさと協力隊の3人による連載コーナーです。各隊員が日々の活動の中で感じたことや朝日町での暮らしを語ります。

## 「キャラクター作りで考えるまちおこし」

情報交流推進員 佐藤恒平 (福島県出身)



佐藤推進員独自のキャラクター論に聞き入る生徒たち

「非公式マスコットを考え、ま  
ちづくりを学ぶ」。こんな授業  
が今年度、朝日中学校2年生の  
美術の時間に行われました。ウ  
サヒを超える町のPRキャラク  
ターを考えながら、町を学び、  
PRを考える授業にと、同校の  
亀井道敬<sup>みちたか</sup>教諭発案の授業です。  
私は1、2月に中学校に出向  
き、完成した作品の講評会と、  
キャラクターづくりのアドバイ  
スを担当しました(II写真)。生  
徒たちの作品には、町の特産品  
などが個性的に盛り込まれ、言  
葉では表しきれないシニールな  
郷土愛にあふれていました。特  
作品を制作するにあたり、特

商品や見どころ、  
条例で定められて  
いる動植物など、  
町の基礎知識を  
学ぶ授業や、企画  
書をまとめる授業  
などが組まれまし  
た。「郷土について  
考えることに主題  
を置く」という亀  
井教諭の明確な狙  
いが、生徒たちの  
作品表現に生き生  
きと反映されていました。

また、授業の最後には中学生  
がウサヒを使って地域おこしを  
考えるという企画会議も行い、  
「携帯電話用の絵文字(スタンプ)  
にしたい」「バンジージャンプで  
町をPRしよう」などなど様々  
なアイデアが飛び出しました。  
ウサヒが舞台に立つ役者だと  
すれば、町の皆さんはそれを指  
揮する監督。これは中学生も同  
じです。若者たちの発想を、話  
だけで終わらせないよう、いく  
つかの実現に向けて本気で取り  
組む覚悟です。4月からの桃色  
ウサヒにもご期待ください。



朝日町ふるさと文化財第1号  
「伊豆権現の種まき桜(栄町)」



役場前の後藤商店北隣、栄町区の伊豆権現境内にあるエドヒ  
ガン桜、通称「種まき桜(=写真)」がこのほど、「朝日町ふるさ  
と文化財(※)」の第1号に登録されました。

この桜は、樹高約9m、枝張約5m、幹回り約3.9mの古木。  
樹齢は700年以上と推定され、近隣市町で天然記念物に指定さ  
れている桜と比べても同等の樹齢です。昔、この花が咲くと稲の  
種まきをしたことから、この名前がついたと言われています。

近くに住む大竹春一さんは25年以上にわたり、毎日伊豆権  
現に手を合わせています。周辺の環境美化にも努め、ずっと桜  
を見守ってきただけに、今回のふるさと文化財登録の知らせを  
聞くと、表情には笑顔がこぼれました。

おれは種まき桜と権現様には人一倍  
愛着を持っているんだ。その理由  
を語るには26年前にさかのぼる。  
昭和63年、おれは区の人たちから  
頼みごとを受けた。「道路から権現様  
までの道をコンクリートで舗装して  
ほしい」と。種まき桜の根元には伊  
豆権現が祀られていて、いろんな人  
がお参りに来るけど、この場所は道路  
より低いところにある。下りる道が  
滑りやすくて、転ぶ人が多かったん  
だ。おれは仕事が造園業だったから、  
左官は慣れていた。ちゃんとした業者  
に頼むより、一区民のおれの方が安く  
してくれると思ったんだろう(笑)。  
工事が終わると、たくさんの人から  
感謝され、お礼ももらった。でもそん  
なお金はそのまま受け取るわけにいか

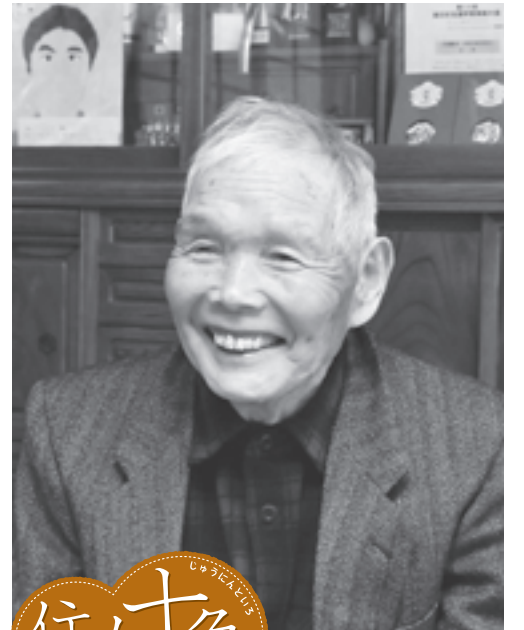
ないと思い、このお金で鳥居を建てた  
んだ。権現様への寄付としてね。その  
あともツツジや伽羅木を寄進した。  
それ以来権現様と桜に愛着がわい  
てね。毎日足を運ぶようになった。  
行事を含めた全体的な管理は(栄町)  
区がやっていて、自分がしているの  
は掃除や除雪といった日常的なもの。  
枝にたくさん雪が積もれば雪下ろし  
もするし、枝に支柱を立てたりもし  
た。もちろん区の許可を得て。仕事柄、



寄進した鳥居と大竹さん

樹木のことはある程度知ってるし、毎  
日見るから気になるんだ。認められ  
たいとかほめてもらいたいとか、そう  
いうことでなくて、自分にできること  
をしているだけ。みんなが喜んでく  
れるのが一番うれしい。  
今回、ふるさと文化財に登録され  
たって聞いたときはうれしかったね。  
栄町の宝が正式に町の宝として認め  
られたっていうことだから。まさに町  
で一番の桜だよ。  
おれはもう90歳になるけど、ちょっ  
と耳が遠い以外は何ともない。この年  
でこんなに健康でいられるのは、間違  
いなく権現様と桜のおかげだと思っ  
ている。自分が達者なうちは、もちろん  
これからもお参りし続けるつもりだ。  
権現様と桜への恩返しとしてね。

※「朝日町ふるさと文化財」とは…?  
地域の財産として親しまれ、大切にされている歴史的文化的財産の保全と活用を目的  
に、町教育委員会が今年度創設した制度。国や県、町で指定されたもの以外を登録し  
ます。登録には申請が必要。詳しくは問合せください。▶教育文化課 ☎67-2118



## 種まき桜を25年以上見守る 大竹春一さん(栄町/90歳)

### テレビ放送のお知らせ

昨年、NHKで取材した種まき桜の様子がこのほど、  
下記番組内で紹介されます。大竹さんも登場予定  
ですのでぜひご覧ください。

- ・新日本風土記「さくら 十二の物語」  
(NHK BSプレミアム)  
3月28日(金) 午後9時~10時  
4月2日(水) 午前8時~9時(再放送)  
4月5日(土) 午前6時~7時(再放送)
- ・新日本風土記スペシャル「さくら 十の物語」  
(NHK総合)  
4月13日(日) 午後3時5分~4時

## 町立図書館新刊案内

### 【その他の新刊】

▼大江戸恐龍伝 第5巻/夢枕  
獏 ▼首折り男のための協奏曲/  
伊坂幸太郎 ▼怒り上・下/吉田  
修一 ▼山姥記/葉室麟 ▼ネッ  
トで「つながる」ことの耐えられ  
ない軽さ/藤原智美 ▼会話に強  
くなる一話す力・聞く力を育てる  
33のメソッド/齋藤孝 ▼作り  
おきそうざい、作りおきサラダ/  
主婦の友社 ▼いくつになっても  
/渡辺淳一 ▼教授と少女と鍊金  
術/金城孝祐 ▼左目に映る星/  
奥田亜希子 ▼さよなら、オレ  
ンジ/岩城けい ▼逆説の世界史1  
/井沢元彦 ▼彼女の家計簿/  
原田ひ香 ▼心に残る入学式・卒  
業式のあいさつ/鳥谷朝代 ▼ア  
ベノミクスは何をもたらすのか/  
高橋伸彰 ▼リビングとソファの  
レジングラフィック社 ▼約束  
の海/山崎豊子 ▼波形の声/長  
岡弘樹 ▼ゼロから始めるお寺と  
仏教入門/広沢隆之 ほか

### 「ブックテマコーナー」

特集①「3・11から3年東  
日本大震災を風化させず、  
語り継ぐ」 特集②「作っ  
てあげたい一通園・通学の  
袋と小物」



「さいこうのスパイス」  
亀岡 亜希子 作・絵



新書大賞2014 太賞受賞作  
「里山資本主義」 藻谷浩介  
NHK広島取材班 著

どんな料理を食べても「まず  
い」というリスのぼっちゃん  
のために、おいしい料理を作っ  
て欲しいとたのまれたオオカミ  
のシエフ。毎日おいしい料理を作  
ってもぼっちゃんは「まずい」。  
著者は米沢市在住。



# 戸籍のまど

Asahi town

2月1日～2月28日届出



## Births

すこやかに

| 区 名 | 出生児氏名   | 性別 | 保護者名  |
|-----|---------|----|-------|
| 沼 向 | 菅 井 心 愛 | 女  | 健太・早紀 |
| 真 中 | 川 村 風 永 | 男  | 拓也・郁恵 |

## Marriages

おしあわせに

|                 |   |                  |
|-----------------|---|------------------|
| 安 藤 孝 之<br>(夏草) | ♡ | 小 野 恵<br>(山形市)   |
| 渡 邊 聖<br>(寒河江市) | ♡ | 石 塚 美 緒<br>(四ノ沢) |

## Obituaries

やすらかに

| 区 名 | 死亡者氏名   | 世帯主名 |
|-----|---------|------|
| 大谷二 | 清 野 高 美 | 正 弘  |
| 大 町 | 堀 和 昭   | 清 雄  |
| 川 通 | 志 藤 正 七 | 一 夫  |
| 中 沢 | 五十嵐 は る | 勉    |
| 立 木 | 長 岡 實   | 芳 正  |
| 大谷七 | 堀 文太郎   | 修 一  |
| 立 木 | 古 川 百合子 | 征 一  |
| 大谷一 | 堀 テルヨ   | 本 人  |
| 太郎二 | 長 岡 は な | 榮    |
| 助ノ巻 | 鈴 木 く に | 俊 身  |

掲載を希望しない場合は  
届け出の際にお申し付けください

## Population

人口と世帯数

|                    |                |
|--------------------|----------------|
| ●平成26年             | 2月28日 現在       |
| ※( )内は先月比          |                |
| 人 口                | 7,670 人 (－ 8)  |
| 男                  | 3,788 人 (－ 2)  |
| 女                  | 3,882 人 (－ 6)  |
| 世帯数                | 2,475 世帯 (+ 1) |
| ----- 2月中の異動 ----- |                |
| 出生                 | 3人 転入 14人      |
| 死亡                 | 10人 転出 15人     |
|                    | (※外国人を含む)      |

## 表紙の写真



町に伝わる古典雛の多くは京都から日本海の北前船によって酒田に運ばれ、最上川舟運によって伝来しました。ただし、上方(京都)伝来の立派な雛人形を求めることができたのは一部の家庭のみ。多くの家庭で飾られるのは、こうした玩具人形が一般的でした。

表紙の写真は中沢の五十嵐六郎兵衛さんの家に伝わる江戸時代の古今雛と玩具人形。価値のあるお雛さまと違い、着目されることの少ない玩具人形ですが、種類が豊富で表情も豊か。懐かしさを感じる方も多いと思います。

地域の民俗文化に詳しい朝日町史編さん室の小川澄夫専門員はこう語ります。「今のような雛人形が一般家庭に普及し始めるのは、昭和40年代以降の話。それ以前の朝日町では、子どもたちが人形を見せてもらいに近所の家を回る風習がありました。家々ではお菓子を用意し、迎えてくれたものです。私も砂糖をまぶした豆菓子が大好きで、お雛さまよりもお菓子が楽しかったです。恐らくみんなそうだったはずですよ(笑)」。

## 朝日町のひななござり展

町総合観光案内所「あさひ旅のココロ館」では現在、町内の家庭に伝わる古典雛を展示しています。21日～24日までの4日は池坊朝日町研究会社中展「ミニいけばな池坊展」も開催され、時代雛に彩を添えます。ぜひ足をお運びください。

- ▶期 日 【朝日町ひななござり展】  
3月24日(月)まで  
【ミニいけばな池坊展】  
3月21日(金)～24日(月)
- ▶時 間 午前9時～午後5時
- ▶場 所 「あさひ旅のココロ館」
- ▶入場料 無料
- ▶主 催 朝日町観光協会  
池坊朝日町教授者研究会
- ▶問合せ 町観光協会(☎67-2134)

# プラス



2013年9月号

## 広報あさひまちを 定期購読しませんか

この春進学・就職等で朝日町を離れる皆さん、広報誌でふるさとのぬくもりを感じてみてはいかがでしょうか。料金は実質送料相当分のみで、現在の購読者は約30人。「遠方に住む親類に送りたい」という方もぜひご利用ください。

- ▶料 金 年間1,680円  
(1ヵ月あたり140円、送料相当分のみ)
- ▶申込み 下記へ電話、メール等で申し込みください。  
後日、郵便払込取扱票をお送りいたします。
- ▶問合せ 政策推進課☎67-2112  
✉inform@town.asahi.yamagata.jp

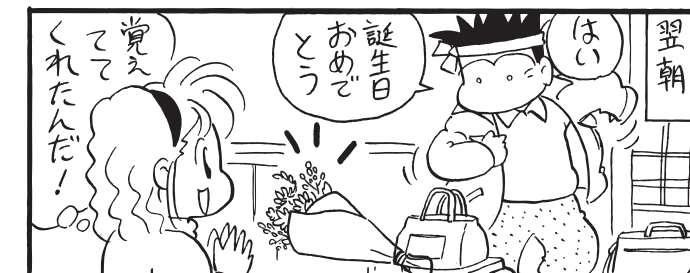
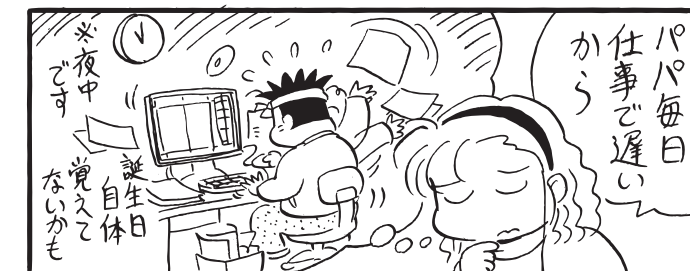
## バレンタイン仕様!ウサヒ型のシューラスク



「ウサヒの弟子」こと、橋本路情報交流推進員の企画を西松屋菓子店(常盤)が形にしました。バレンタインデーの2月14日、役場の職員や来庁者に配られ、テレビや新聞等で紹介されました。

※本企画は情報交流推進員が自費で行った独自PR企画です。町内菓子店の紹介を兼ねた町の話作りを目的に、制作過程などもリポートしています。その様子は町HP「桃色ウサヒの朝日町探検3ds」をご覧ください。

## となりのウサヒさん ホリイ



## 「選ばれる町」

## 「選ばれ続ける町」づくり

「まじ」な「こもった」おもてなしの心

これまで観光も含め、当町での交流人口についての認識は、正直高いものではなかったのではないかと思われます。そのような状況の中、近年の町内における各種イベント事業における入り込み客数は軒並み過去最高を更新しています。

お客様に喜んでもらえる自分たちの「強み」は何なのか。この「強み」を最大限活かして、資源・素材の付加価値を高め、さらに競争力を高めていくという考え。この考えの根底には、「お客様の喜びは、自分たちにとっても何よりの喜びである」という「思い」があり、この「思い」は、「まじ」な「こもった」おもてなしの心へとつながっているのです。

人も自然も産業もすべて町全体がキラキラと輝き、そこに行ってみたい、そこで暮らしてみたい、ここで暮らして良かった、誇りを持って言える町づくりを実現するため、人を引きつける「選ばれる町」そして「選ばれ続ける町」づくりを強力に進めてまいります。

朝日町長 鈴木 浩彦

町長歳時記  
(95)



# 第55回 こども県展 入選作品



入選

「がんばってつんだ  
りんごの花」  
清野 華鈴 さん  
(宮宿小3年)



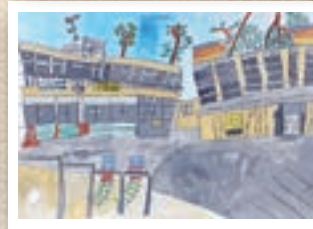
入選

「くり列車のたび」  
鈴木 陽也 くん  
(西五百川小4年)



入選

「でっかい  
ダイカイギュウ」  
千葉 清春 くん  
(宮宿小3年)



入選

「初夏の校舎」  
海野 翼 くん  
(西五百川小5年)



入選

「ゆめのような  
時計遊園地」  
阿部 凌太 くん  
(西五百川小4年)



入選

「青い花と夕方の空」  
長岡 真生 くん  
(西五百川小6年)



入選

「校庭の大きなポプラ」  
岡崎 優佳 さん  
(宮宿小4年)



入選

「大きなさくらの木を  
見上げて」  
鈴木 志穂 さん  
(宮宿小4年)



入選

「でっかいぞ、  
ポプラの木」  
田中 文崇 くん  
(宮宿小6年)



入選

「バスケットゴールを  
見上げて」  
鈴木 優希 さん  
(宮宿小6年)

## 春夏秋冬 編集後記

私も台所に  
立ってみよう、かな…

「同じ町に住んでいても、男女間でこれだけ関心ごとが違うものか」。今年度の「町長と語ろう」の報告書を見て感じたことです。特集記事にあるように、女性の話題は生活に密着したものが多く、私の私にとっては参考になることばかりでした。

この3月で広報担当歴がちょうど7年になる自分。これまでの特集記事は男目線のテーマが中心で、「生活目線」や「温かさ」「繊細さ」といった部分がやや足りなかったように感じます。

今回の特集は、こうした想いも

あって企画してみました。性別の先入観にとらわれず、輝いている人たち。その話はとても新鮮で、初めて取り上げるテーマでしたが、どんな筆が進みました。

特に印象的だったのは、10ページの志藤さんの言葉。「男女共同参画は家庭が基本。大人になってから難しい言葉で教えるものではない」。納得です。3人の子を持つ親として、男の私も台所に立つことから始めてみます。古瀬栄養士の言うように(3頁)、妻の目がハートになるかはわかりませんが…(笑)。

佐久間 淳